

事務事業名	高額介護サービス費給付事業				担当	健康福祉部 介護保険課 介護保険係	
政策名	C	思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり			電話番号	0285-83-8094	
施策名	5	高齢者の自立と社会参加の支援			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	介護保険法第51条及び第61条					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成12年度～）	
予算科目	5.介護保険特別会計（保険事業助定）	2.保険給付費	4.高額介護サービス等諸費	1.高額介護サービス費 2.高額介護予防サービス費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	要介護・要支援認定者が受けた介護サービスに係る1ヶ月の基準の利用者負担額が、一定の上限額を超えた場合、その超えた部分の金額が高額介護サービス費として支給される。支給要件及び支給額等については政令で定められており、支給する際には市役所窓口において初回のみ支給申請をする必要がある。また、低所得世帯に対しては、負担が過重にならないよう所得に応じた上限額が設定されている。 利用者負担上限額・一般世帯37,200円・住民税非課税世帯で所得金額+課税年金収入が80万円を超える人24,600円・住民税非課税世帯で上記以外の人15,000円						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 26年度実績 高額介護サービスの申請データを国保連に送付、国保連で内容審査をしたデータを市のシステムに取り込み、精査後申請者の口座に当該給付費を振り込む。 27年度計画 前年度同様。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
ア 給付件数	件	5,826	5,772	6,232	6,806	7,039	
イ 給付額	千円	61,249	62,722	67,493	74,876	77,444	
ウ							
エ							
オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 介護サービスを一定額以上利用した者	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
ア 介護サービスを一定額以上利用した延べ人数	人	5,945	6,039	6,503	7,081	7,289	
イ (高額介護サービス費該当者)							
ウ							
エ							
オ							
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 高額介護給付費を支給して、介護サービスに対する経済的負担を軽減する。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
ア 介護サービスを一定額以上受給した延べ人数	人	5,826	5,772	6,232	6,806	7,039	
イ (高額介護サービス費受給者)							
ウ							
エ							
オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 介護を必要としている高齢者が、平等に介護サービスを受けられるようにし、高齢者の自立を支援する。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
ア 高額介護サービス費該当者のうち負担軽減が図られた割合	%	98.0	95.6	95.8	96.1	96.6	
イ (高額介護サービス費受給者)							
ウ							
エ							
オ							

(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	千円	15,312	15,681	16,873	18,719	0
		国庫支出金	千円	7,656	7,840	8,437	9,360	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	18,375	18,189	19,573	21,714	0
		その他	千円	19,906	21,012	22,610	25,083	0
		一般財源	千円	61,249	62,722	67,493	74,876	0
	事業費計(A)	千円	3	3	3	3	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	420	420	430	430	0
		延べ業務時間	時間	1,782	1,765	1,748	1,815	0
		人件費計(B)	千円	63,031	64,487	69,241	76,691	0
トータルコスト(A)+(B)		千円						

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成12年4月の介護保険制度の開始。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	高齢者人口の増加と介護保険制度の普及により、介護保険サービスの利用者が増加したことに伴い、高額介護サービス費の支給該当者も増加している。また、平成17年度の介護保険法の改正により、高額介護サービス費を算定する上限額が引き下げられたことにより、該当者が急増し給付額も増大した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 経済的な問題で介護が受けられない高齢者をなくし、介護が必要となった高齢者の生活支援をすることは高齢者の自立支援に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 介護保険法で定められており妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 介護保険法で定められており適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 初回該当者(法改正により2回目以降の申請は不要)には、申請の勧奨通知を行っているため、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 介護保険法で定められており廃止できない。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？ ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 介護保険法で定められている事業であり、削減余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の人件費であり、削減余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担は介護保険法に基づくものであり、公平・公正である。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							